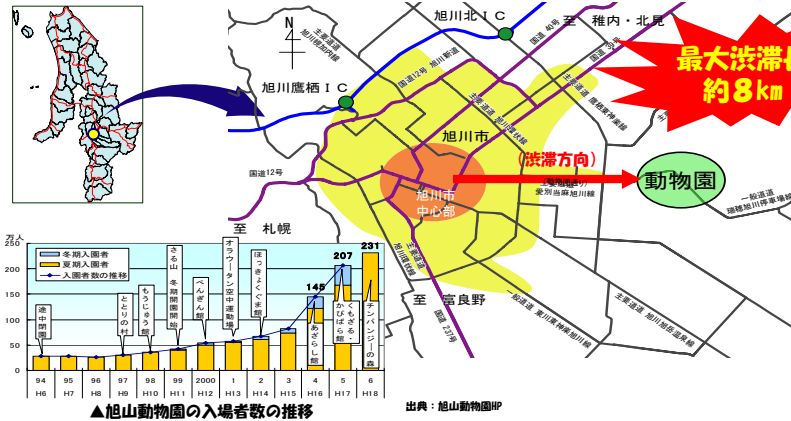


旭山動物園に向かう交通が分散し、渋滞が緩和しました！

1. (P) 旭山動物園入場者の増大と交通混雑の深刻化

◆旭山動物園の入場者数は平成16年度で145万人（対前年度60万人増加）と年々増加しており、動物園周辺道路における休日の著しい交通渋滞が地域社会の問題となっていました。



2. (D) 案内標識を設置し、動物園に向かう交通を分散

◆旭山動物園への「案内ルート」を設定した上で「案内標識」を設置しました。
◆また、案内ルートの動物園HP掲載、各メディアに対しての報道依頼を行い積極的なPRを実施しました。



3. (C) 案内標識設置による効果

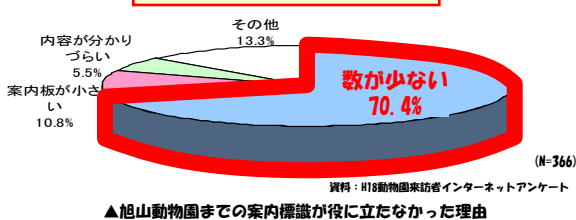
◆西方面・北方面からの交通量が約1割減少する一方、南方面からの交通量は約1割増加しており、動物園に向かう交通の分散が進みました。
◆混雑する西方面では、流入交通量の減少により最大渋滞長がH17年より約3割（H16年より約9割）減少しました。



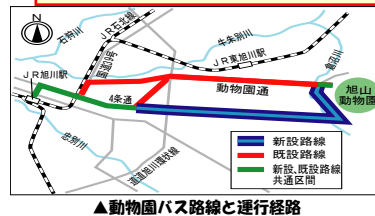
4. (A) 更なる渋滞対策について

◆今後は、更なる利便性の向上を目指し、情報提供を充実する方を検討する必要があります。（動物園来園者のアンケートでは、案内標識に対する不満の7割が「案内標識の数が少ない」ことでした）
◆また、路線バス等、他の交通機関の活用によるアクセス強化を検討する必要があります。（動物園来訪者は依然として高いペースで増加しており、マイカーでの来園者が増加し続けられ、案内標識による渋滞緩和効果も限界をきたします）

今後の対策① 案内標識の増設



今後の対策② 公共交通機関の活用



平成18年度のGW期間中、動物園路線バスの遅れは全く発生しませんでした。



資料：旭川電気軌道(株)ヒアリング